

衛生陶器を設置する際の壁補強（乾式工法）補強材が合板補強の場合

参考資料

洗面器などを壁に取り付けるさいは、バックハンガー部やビス固定部の木ねじが抜けないように、壁裏に十分な補強をしてください。補強が不十分な場合は洗面器などに荷重がかかったさいに、器具ががたついたり落下する場合がありますため、下表を目安にJAS規格合板で補強してください。ただし補強した合板（補強板）はねじの抜け力を確保するためのものであり、壁自体の強度を確保するためのものではないためご注意ください。

分類	品番	補強部位	品番	下地の厚み[mm]	※1 補強板の厚み[mm]
流し	SK 6, SK 7	バックハンガー	T 9R	※2 12以上	12以上
		ブラケット	T 8WF380R		
	SK 22A	バックハンガー	T 9R		12以上
		壁フランジ	T 37PGEP, T 37PE		
	SK 35	バックハンガー	T 9R		12以上
		壁フランジ	HP 551VP, HP 551VU TW 450W		
	SK 73R	ビス	TA 1S		12以上
	SK 322	バックハンガー	T 9R		12以上
		壁フランジ	T 37PGEP, T 37PE		12以上
	SK 500	バックハンガー	TL 220D		12以上
	SK 507	バックハンガー	T 9R		12以上
手洗器	SK 510・D	バックハンガー	TL 220D		24以上
	L 30D・DM	バックハンガー	TL 220D		24以上
	L 112	バックハンガー	T 9R		24以上
	L 650D	バックハンガー	TL 250-1D		24以上
	L 870・A・AM・M	バックハンガー	T 9N		12以上
	L 90DR	ビス	TA 3N		12以上
	LS 40DBZ	ブラケット	HM 40S		12以上
洗面器	LS 850	バックハンガー	T 9R		12以上
	L 103A・CF・CFG・D・DMP	バックハンガー	TL 220D		24以上
	L 120D・DH・DHM・DM, L 130D・DH・DHM・DM	バックハンガー	TL 120D		12以上
	L 210C・CM・D・DM	バックハンガー	TL 250D		24以上
	L 250A・AM・C・CF・CM・D・DM	バックハンガー	TL 250D		24以上
	L 260C・CM, L 270C・CM・D・DM	バックハンガー	TL 220D		24以上
	L 520・L 530	ブラケット	TL 516GR, TL 516GLR		24以上
	L 546U・L 548U・L 587U L 582S・CS・CMS	ブラケット	TL 516GR		24以上
	L 620	ブラケット	TL 516GLR		24以上
	L 710C・CM	バックハンガー	T 9R		24以上
	LS 800・DM・G・GM	バックハンガー	T 9RA		12以上
		壁フランジ	HP 800F, HP 800EF		

資料

衛生陶器を設置する際の
壁補強（乾式工法）

分類	品番	補強部位	品番	下地の厚み[mm]	※1 補強板の厚み[mm]
洗髪器	S 305DNU	バックハンガー	TK 305H	※2 12以上	※1 24以上
小便器	U 310・GY・GW	バックハンガー	T 9R		12以上
		壁フランジ	T 64CP, T 64CW		12以上
	UFS 800CE, UFS 860CS・CES・CKS	バックハンガー	製品に同梱		12以上
		壁フランジ	T 64CP(セット品番を含む)		12以上
	UFS 800CEZ・CKZ・CZ, UFS 860CSZ・CESZ・CKSZ	バックハンガー	製品に同梱		12以上
		壁フランジ	T 64CW(セット品番を含む)		12以上
	UFH 557, UFH 560	バックハンガー	T 9RA		12以上
		壁フランジ	HP 500(セット品番を含む)		12以上
	UFH 557Z, UFH 560Z	バックハンガー	T 9RA		12以上
		壁フランジ	HP 500E(セット品番を含む)		12以上
タンク	S 534B, S 535B, S 570B, S 570BKS, S 570BF, S 670BU・BFU	バックハンガー	T 9R		12以上
		壁フランジ	HP 500(セット品番を含む)		12以上
	S 31, S 300BK, S 513BKS	バックハンガー	T 9R		12以上
		壁フランジ	HP 500E(セット品番を含む)		12以上
大便器	C 550SU, C 743PVN	壁フランジ	HP 551VP, HP 551VU TW 450W	※2 ※3 12以上	※3 12以上

使用するビスのねじ部が補強板に充分かかることをご確認ください。

※1 JAS規格合板をご使用ください。

※2 JAS規格合板12mm以上か同等以上の圧縮強度を有する材料(硬質石膏ボード12.5mm等)を使用してください。

石こうボードは壁自体の強度が弱いため、直接洗面器などを取り付けしないでください。

洗面器などを取り付ける場合は、洗面器などを取り付ける壁を合板に取り替えてください。

石こうボードに直接洗面器などを取り付けると、洗面器などに荷重がかかったさいにボードが破壊し、洗面器などが外れるおそれがあります。

※3 壁掛大便器スタンドとの併用の場合は9mm以上

※4 さまざまな身体状況の方が使用され、より強度が求められる現場においては982ページ記載のC型チャンネルでの補強をおすすめします。

《試算条件》

- ・リム先端に1KNの荷重をかけた場合を想定

〈補強板の取付方〉

注1：補強板は角材などを用いて両端を、柱・間柱などの建築の躯体にしっかり固定してください。

※ 壁下地と補強板をビスで固定してください。

※ () 寸法は参考寸法です。

